段階： **Action**

廃炉プロセス 「**処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）**」
検討対象 「**環境回復**」
課題 「**各種管理区域解除**」

ニーズ

1. 各種管理区域を解除したい。

望ましい状態とその理由

- 管理区域解除に向けて、合理的な解除判断の考え方と基準の整備が必要とされる。

理想に対する現状

- 解除判断の考え方及び基準は明確ではない。

解決すべき課題

- 合理的な判断基準の検討としては、例えば、最終的な解除時点において、汚染土壌等の除去を含め全面的に除染を実施する場合、または、部分的に一定の汚染は許容する場合等が考えられる。さらに、汚染状況に応じて、時間軸を踏まえた段階的解除に関する検討も必要である。

参考文献

- 原子力災害時における避難退域時検査と除染基準に関する調査と考察、日本原子力研究開発機構、2023 年 11 月 28 日
    - https://jopss.jaea.go.jp/pdfdata/JAEA-Research-2023-011.pdf

（参考）関連する研究課題

実施されている研究課題

- 特になし

検討されている研究課題

- 特になし

関連する課題

- 汚染水-102「地下水・建屋の現状把握」
- 汚染水-202「構造物健全性確保」